

「新司法試験」結果にみる、 「法科大学院」の実態！

創設時の政府目標に程遠く、21年合格者数は
前年割れの2,043人、合格率 27.6%に低迷。

旺文社 教育情報センター 21年10月

21年5月からスタートした市民参加の「裁判員制度」などとともに、司法制度改革の一環として16年度に創設された「法科大学院」、同じく18年から実施されている「新司法試験」。法科大学院は、裁判官・検察官・弁護士といった法曹の量的拡大と質的充実を図る新しい法曹養成機関として期待されている。

しかし、21年新司法試験結果をみると、合格者数は20年より22人(1.1%)少ない2,043人と初の前年割れになり、合格率も20年より5.3ポイントダウンの27.6%である。

18年度修了者の21年まで(修了後5年間で3回の受験制限)の合格者数をみても、修了者に対する合格率は48.1%に留まる。合格者数を「22年ころに年間3,000人」、合格率を「修了者の7～8割合格」とする創設時の政府目標の達成には程遠い。

中教審では、法科大学院の質の向上を図るための改善策を既に報告しているが、今回の試験結果を踏まえ、改めて法科大学院特別委員会の座長談話を出し、各法科大学院の改善への取組を強く求めている。



＜新司法試験の受験、合格の推移＞

新司法試験は、法科大学院の第1期生である17年度修了者(法学既修者コース<2年制>)。以下、既修者)が受験した18年以降、これまで計4回実施されている。

第1回(18年実施)～第4回(21年実施)までの、それぞれの試験結果の概要をみよう。(図1、表1、表2参照)

1. 第1回(18年実施)

第1回目の18年新司法試験は、16年度に設置された68校の法科大学院のうち、58校から既修者のみ2,091人が受験し、合格者1,009人、合格率48.3%だった。18年は法科大学院の設立2年目に当たり、法学未修者コース(3年制。以下、未修者)の受験はなかった。

法科大学院の入学に際しては、各校の法学に関する認定試験等によって、法学部出身者でも未修者、非法学部出身者でも既修者として、それぞれの教育課程コースに分かれる。18年新司法試験の法学部、非法学部出身者の合格率は、それぞれ48.4%、44.6%で、両者の間にはさほど大きな差はなかった。合格者の男女構成比は男性77.4%、女性22.6%だった。

ところで、新司法試験の受験回数については、「法科大学院修了後、最初の4月1日から5年以内に3回まで」(修了前2年間の旧司法試験の受験も回数に含む)とする制限がある。

18年の新司法試験では、受験回数3回目(旧司法試験含む。以下、同)の受験者が20人で、そのうち14人(合格率70.0%)が合格したが、残りの6人は受験資格を失ったことになる。

2. 第2回(19年実施)

19年は、既修者2,642人と未修者1,965人の計4,607人が受験。合格者は1,851人で、合格率は40.2%。合格者の内訳は既修者1,216人(合格率46.0%)、未修者635人(同32.3%)である。

法学部、非法学部出身者別の合格率は、それぞれ41.9%、35.2%。合格者の男女構成比は男性72.1%、女性27.9%で、女性の比率が前年より5.3ポイントアップした。

受験回数3回目の受験者123人、合格者76人(合格率61.8%)で、47人が受験資格を失った。

3. 第3回(20年実施)

20年は、既修者3,002人と未修者3,259人の計6,261人が受験した。合格者は2,065人で、合格率は33.0%だった。

合格者の内訳は、既修者1,331人(合格率44.3%)、未修者734人(同22.5%)である。法学部、非法学部出身者別の合格率は、それぞれ35.0%、27.3%で、前年よりさらに差が開いた。合格者の男女構成比は男性72.7%、女性27.3%で、前年とほぼ同じ。

受験回数3回目の受験者361人、合格者120人(合格率33.2%)で、241人が受験資格を失った。

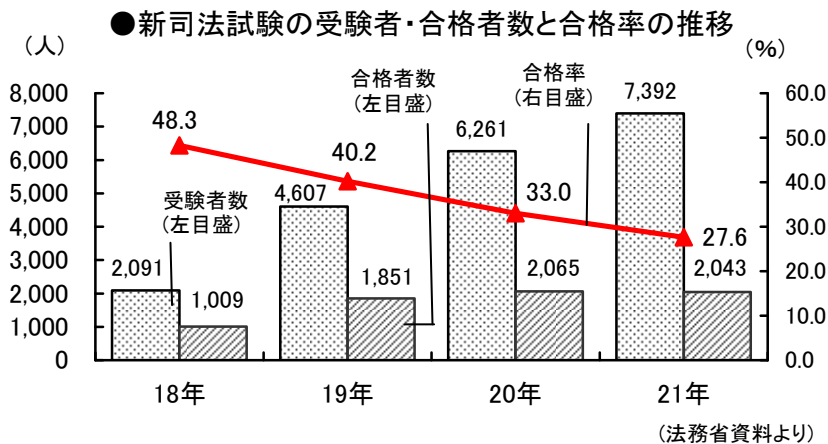
4. 第4回(21年実施)

21年は、既修者3,274人と未修者4,118人の計7,392人が受験。合格者は2,043人で、初めて前年を下回った。合格率も27.6%で、初の2割台に低下した。

合格者の内訳は、既修者1,266人(合格率38.7%)、未修者777人(同18.9%)。法学部、非法学部出身者別の合格率は、それぞれ29.4%、22.6%で、両者の差は前年よりやや縮まった。合格者の男女構成比は男性73.6%、女性26.4%で、女性の比率が前年より0.9ポイント低下した。

受験回数3回目の受験者は742人にのぼり、合格者は171人(合格率23.0%)で、571人が受験資格を失った。

(図1)



大学名	新司法試験受験者数					新司法試験合格者数・合格率									
	18年	19年	20年	21年	合計(a) (18年～21年)	18年		19年		20年		21年		(18年～21年)	平均合格率(b/a)
						合格者数	合格率(%)	合格者数	合格率(%)	合格者数	合格率(%)	合格者数	合格率(%)		
1 北海道大	38	98	108	156	400	26	68.42%	48	48.98%	33	30.56%	63	40.38%	170	42.50%
2 東北大	42	96	127	154	419	20	47.62%	47	48.96%	59	46.46%	30	19.48%	156	37.23%
3 筑波大			26	34	60					5	19.23%	3	8.82%	8	13.33%
4 千葉大	27	62	69	64	222	15	55.56%	40	64.52%	34	49.28%	24	37.50%	113	50.90%
5 東京大	170	304	366	389	1,229	120	70.59%	178	58.55%	200	54.64%	216	55.53%	714	58.10%
6 一橋大	53	96	127	132	408	44	83.02%	61	63.54%	78	61.42%	83	62.88%	266	65.20%
7 横浜国立大	10	38	65	79	192	5	50.00%	13	34.21%	24	36.92%	20	25.32%	62	32.29%
8 新潟大	10	36	50	81	177	5	50.00%	8	22.22%	9	18.00%	14	17.28%	36	20.34%
9 金沢大	2	24	47	49	122	1	50.00%	8	33.33%	4	8.51%	11	22.45%	24	19.67%
10 信州大			19	26	45					0	0.00%	4	15.38%	4	8.89%
11 静岡大			17	36	53					2	11.76%	4	11.11%	6	11.32%
12 名古屋大	28	65	98	120	311	17	60.71%	41	63.08%	32	32.65%	40	33.33%	130	41.80%
13 京都大	129	211	241	288	869	87	67.44%	135	63.98%	100	41.49%	145	50.35%	467	53.74%
14 大阪大	21	73	127	155	376	10	47.62%	32	43.84%	49	38.58%	52	33.55%	143	38.03%
15 神戸大	62	91	128	149	430	40	64.52%	46	50.55%	70	54.69%	73	48.99%	229	53.26%
16 島根大	1	18	26	23	68	1	100.00%	3	16.67%	4	15.38%	1	4.35%	9	13.24%
17 岡山大	12	23	35	52	122	4	33.33%	10	43.48%	11	31.43%	13	25.00%	38	31.15%
18 広島大	12	32	52	84	180	3	25.00%	11	34.38%	19	36.54%	21	25.00%	54	30.00%
19 香川大		9	21	42	72			3	33.33%	3	14.29%	3	7.14%	9	12.50%
20 九州大	13	74	105	174	366	7	53.85%	29	39.19%	38	36.19%	46	26.44%	120	32.79%
21 熊本大	4	20	33	32	89	1	25.00%	2	10.00%	7	21.21%	5	15.63%	15	16.85%
22 鹿児島大		25	23	35	83			2	8.00%	1	4.35%	2	5.71%	5	6.02%
23 琉球大		16	24	40	80			7	43.75%	3	12.50%	4	10.00%	14	17.50%
24 首都大学東京	39	69	79	87	274	17	43.59%	28	40.58%	39	49.37%	34	39.08%	118	43.07%
25 大阪市立大	26	72	82	96	276	18	69.23%	31	43.06%	33	40.24%	24	25.00%	106	38.41%
26 北海学園大			13	24	37					2	15.38%	7	29.17%	9	24.32%
27 東北学院大		32	37	33	102			3	9.38%	7	18.92%	4	12.12%	14	13.73%
28 白鷗大	6	19	21	24	70	3	50.00%	4	21.05%	2	9.52%	4	16.67%	13	18.57%
29 大宮法科大学院大		43	81	81	205			6	13.95%	16	19.75%	12	14.81%	34	16.59%
30 獨協大		30	40	66	136			6	20.00%	8	20.00%	5	7.58%	19	13.97%
31 駿河台大	21	46	84	80	231	2	9.52%	9	19.57%	11	13.10%	4	5.00%	26	11.26%
32 青山学院	14	40	61	89	204	5	35.71%	7	17.50%	15	24.59%	8	8.99%	35	17.16%
33 学習院大	49	67	87	86	289	15	30.61%	19	28.36%	20	22.99%	21	24.42%	75	25.95%
34 慶應義塾大	164	271	292	317	1,044	104	63.41%	173	63.84%	165	56.51%	147	46.37%	589	56.42%
35 國學院大	2	28	40	55	125	1	50.00%	6	21.43%	4	10.00%	6	10.91%	17	13.60%
36 駒澤大	18	37	47	48	150	1	5.56%	8	21.62%	11	23.40%	5	10.42%	25	16.67%
37 上智大	51	94	120	144	409	17	33.33%	40	42.55%	50	41.67%	40	27.78%	147	35.94%
38 成蹊大	25	42	45	68	180	11	44.00%	16	38.10%	17	37.78%	14	20.59%	58	32.22%
39 専修大	51	76	88	83	298	9	17.65%	19	25.00%	20	22.73%	17	20.48%	65	21.81%
40 創価大	14	39	60	76	189	8	57.14%	20	51.28%	13	21.67%	12	15.79%	53	28.04%
41 大東文化大	19	36	37	43	135	4	21.05%	4	11.11%	6	16.22%	3	6.98%	17	12.59%
42 中央大	239	292	352	373	1,256	131	54.81%	153	52.40%	196	55.68%	162	43.43%	642	51.11%
43 東海大	3	16	34	50	103	0	0.00%	2	12.50%	4	11.76%	3	6.00%	9	8.74%
44 東洋大	24	44	55	70	193	4	16.67%	12	27.27%	4	7.27%	5	7.14%	25	12.95%
45 日本大	54	111	148	153	466	7	12.96%	14	12.61%	26	17.57%	20	13.07%	67	14.38%
46 法政大	62	128	135	138	463	23	37.10%	24	18.75%	32	23.70%	25	18.12%	104	22.46%
47 明治大	95	200	264	310	869	43	45.26%	80	40.00%	84	31.82%	96	30.97%	303	34.87%
48 明治学院大	18	54	74	77	223	8	44.44%	11	20.37%	16	21.62%	9	11.69%	44	19.73%
49 立教大	18	59	92	112	281	7	38.89%	17	28.81%	21	22.83%	25	22.32%	70	24.91%
50 早稲田大	19	223	345	380	967	12	63.16%	115	51.57%	130	37.68%	124	32.63%	381	39.40%
51 神奈川大	13	25	41	60	139	4	30.77%	8	32.00%	5	12.20%	4	6.67%	21	15.11%
52 関東学院大	15	23	42	56	136	1	6.67%	9	39.13%	4	9.52%	7	12.50%	21	15.44%
53 桐蔭横浜大		35	63	62	160			9	25.71%	8	12.70%	8	12.90%	25	15.63%
54 山梨学院大	11	31	40	46	128	6	54.55%	10	32.26%	7	17.50%	12	26.09%	35	27.34%
55 愛知大	18	27	35	41	121	13	72.22%	7	25.93%	16	45.71%	20	48.78%	56	46.28%
56 愛知学院大			16	26	42					0	0.00%	4	15.38%	4	9.52%
57 中京大		18	36	38	92			4	22.22%	8	22.22%	6	15.79%	18	19.57%
58 南山大	10	26	49	59	144	5	50.00%	10	38.46%	15	30.61%	18	30.51%	48	33.33%
59 名城大	5	20	31	37	93	2	40.00%	6	30.00%	5	16.13%	7	18.92%	20	21.51%
60 京都産業大	1	36	45	51	133	0	0.00%	7	19.44%	4	8.89%	1	1.96%	12	9.02%
61 同志社大	88	161	210	235	694	35	39.77%	57	35.40%	59	28.10%	45	19.15%	196	28.24%
62 立命館大	103	169	205	243	720	27	26.21%	62	36.69%	59	28.78%	60	24.68%	208	28.89%
63 龍谷大			24	48	72					2	8.33%	5	10.42%	7	9.72%
64 大阪学院大		14	28	36	78			2	14.29%	1	3.57%	2	5.56%	5	6.41%
65 関西大	50	130	187	207	574	18	36.00%	32	24.62%	38	20.32%	35	16.91%	123	21.43%
66 近畿大	6	17	25	50	98	3	50.00%	2	11.76%	4	16.00%	9	18.00%	18	18.37%
67 関西学院大	64	130	168	191	553	28	43.75%	39	30.00%	51	30.36%	37	19.37%	155	28.03%
68 甲南大	18	44	71	93	226	5	27.78%	11	25.00%	12	16.90%	17	18.28%	45	19.91%
69 神戸学院大	3	11	18	28	60	0	0.00%	4	36.36%	6	33.33%	3	10.71%	13	21.67%
70 姫路獨協大	8	19	24	26	77	0	0.00%	1	5.26%	0	0.00%	2	7.69%	3	3.90%
71 広島修道大		21	35	47	103			6	28.57%	7	20.00%	6	12.77%	19	18.45%
72 久留米大	4	29	42	50	125	1	25.00%	1	3.45%	5	11.90%	5	10.00%	12	9.60%
73 西南学院大	4	28	46	67	145	2	50.00%	7	25.00%	2	4.35%	10	14.93%	21	14.48%
74 福岡大	5	14	33	38	90	3	60.00%	6	42.86%	10	30.30%	7	18.42%	26	28.89%
合計(平均)	2,091	4,607	6,261	7,392	20,351	1,009	48.25%	1,851	40.18%	2,065	32.98%	2,043	27.64%	6,968	34.24%

注 ①表中の/は、当該年の受験者ゼロ(修了者なし等を含む)。

③平均合格率は、「18年～21年の合格者数÷18年～21年の受験者数」。

②各年の合格率は、当該年の「合格者数÷受験者数」。

④合格率は、小数第3位を四捨五入。(法務省資料より)

●新司法試験(18年~21年) 各法科大学院合格者数実績(合格者数の多い順)

(表2)

① 18年合格者数

順位	大学名	合格者数
1	中央大	131
2	東京大	120
3	慶應義塾大	104
4	京大	87
5	一橋大	44
6	明治大	43
7	神戸大	40
8	同志社大	35
9	関西学院大	28
10	立命館大	27
11	北海道大	26
12	法政大	23
13	東北大	20
14	大阪市立大	18
14	関西大	18
16	名古屋大	17
16	首都大学東京	17
16	上智大	17
19	千葉大	15
19	学習院大	15
21	愛知大	13
22	早稲田大	12
23	成蹊大	11
24	大阪大	10
25	専修大	9
26	創価大	8
26	明治学院大	8
28	九州大	7
28	日本大	7
28	立教大	7
31	山梨学院大	6
32	横浜国立大	5
32	新潟大	5
32	青山学院	5
32	南山大	5
32	甲南大	5
37	岡山大	4
37	大東文化大	4
37	東洋大	4
37	神奈川大	4
41	広島大	3
41	白鷗大	3
41	近畿大	3
41	福岡大	3
45	駿河台大	2
45	名城大	2
45	西南学院大	2
48	金沢大	1
48	島根大	1
48	熊本大	1
48	國學院大	1
48	駒澤大	1
48	関東学院大	1
48	久留米大	1
55	東海大	0
55	京都産業大	0
55	神戸学院大	0
55	姫路獨協大	0
	筑波大	
	信州大	
	静岡大	
	香川大	
	鹿児島大	
	琉球大	
	北海学園大	
	東北学院大	
	大宮法科大学院大	
	獨協大	
	桐蔭横浜大	
	愛知学院大	
	中京大	
	龍谷大	
	大阪学院大	
	広島修道大	

合格者合計: 1,009

② 19年合格者数

順位	大学名	合格者数
1	東京大	178
2	慶應義塾大	173
3	中央大	153
4	京大	135
5	早稲田大	115
6	明治大	80
7	立命館大	62
8	一橋大	61
9	同志社大	57
10	北海道大	48
11	東北大	47
12	神戸大	46
13	名古屋大	41
14	千葉大	40
14	上智大	40
16	関西学院大	39
17	大阪大	32
17	関西大	32
19	大阪市立大	31
20	九州大	29
21	首都大学東京	28
22	法政大	24
23	創価大	20
24	学習院大	19
24	専修大	19
26	立教大	17
27	成蹊大	16
28	日本大	14
29	横浜国立大	13
30	東洋大	12
31	広島大	11
31	明治学院大	11
31	甲南大	11
34	岡山大	10
34	山梨学院大	10
34	南山大	10
37	駿河台大	9
37	関東学院大	9
37	桐蔭横浜大	9
40	新潟大	8
40	金沢大	8
40	駒澤大	8
40	神奈川大	8
44	琉球大	7
44	青山学院	7
44	愛知大	7
44	京都産業大	7
44	西南学院大	7
49	大宮法科大学院大	6
49	獨協大	6
49	國學院大	6
49	名城大	6
49	広島修道大	6
49	福岡大	6
55	白鷗大	4
55	大東文化大	4
55	中京大	4
55	神戸学院大	4
59	島根大	3
59	香川大	3
59	東北学院大	3
62	熊本大	2
62	鹿児島大	2
62	東海大	2
62	大阪学院大	2
62	近畿大	2
67	姫路獨協大	1
67	久留米大	1
	筑波大	
	信州大	
	静岡大	
	北海学園大	
	愛知学院大	
	龍谷大	

合格者合計: 1,851

③ 20年合格者数

順位	大学名	合格者数
1	東京大	200
2	中央大	196
3	慶應義塾大	165
4	早稲田大	130
5	京大	100
6	明治大	84
7	一橋大	78
8	神戸大	70
9	東北大	59
9	同志社大	59
9	立命館大	59
12	関西学院大	51
13	上智大	50
14	大阪大	49
15	首都大学東京	39
16	九州大	38
16	関西大	38
18	千葉大	34
19	北海道大	33
19	大阪市立大	33
21	名古屋大	32
21	法政大	32
23	日本大	26
24	横浜国立大	24
25	立教大	21
26	学習院大	20
26	専修大	20
28	広島大	19
29	成蹊大	17
30	大宮法科大学院大	16
30	明治学院大	16
30	愛知大	16
33	青山学院	15
33	南山大	15
35	創価大	13
36	甲南大	12
37	岡山大	11
37	駒澤大	11
37	駿河台大	11
40	福岡大	10
41	新潟大	9
42	獨協大	8
42	桐蔭横浜大	8
42	中京大	8
45	熊本大	7
45	東北学院大	7
45	山梨学院大	7
45	広島修道大	7
49	大東文化大	6
49	神戸学院大	6
51	筑波大	5
51	神奈川大	5
51	名城大	5
51	久留米大	5
55	金沢大	4
55	島根大	4
55	國學院大	4
55	東海大	4
55	東洋大	4
55	関東学院大	4
55	京都産業大	4
55	近畿大	4
63	香川大	3
63	琉球大	3
65	静岡大	2
65	北海学園大	2
65	白鷗大	2
65	龍谷大	2
65	西南学院大	2
70	鹿児島大	1
70	大阪学院大	1
72	信州大	0
72	愛知学院大	0
72	姫路獨協大	0

合格者合計: 2,065

④ 21年合格者数

順位	大学名	合格者数
1	東京大	216
2	中央大	162
3	慶應義塾大	147
4	京大	145
5	早稲田大	124
6	明治大	96
7	一橋大	83
8	神戸大	73
9	北海道大	63
10	立命館大	60
11	大阪大	52
12	九州大	46
13	同志社大	45
14	名古屋大	40
14	上智大	40
16	関西学院大	37
17	関西大	35
18	首都大学東京	34
19	東北大	30
20	法政大	25
20	立教大	25
22	千葉大	24
22	大阪市立大	24
24	広島大	21
24	学習院大	21
26	横浜国立大	20
26	日本大	20
26	愛知大	20
29	南山大	18
30	専修大	17
30	甲南大	17
32	新潟大	14
32	成蹊大	14
34	岡山大	13
35	大宮法科大学院大	12
35	創価大	12
35	山梨学院大	12
38	金沢大	11
39	西南学院大	10
40	明治学院大	9
40	近畿大	9
42	青山学院	8
42	桐蔭横浜大	8
44	北海学園大	7
44	関東学院大	7
44	名城大	7
44	福岡大	7
48	國學院大	6
48	中京大	6
48	広島修道大	6
51	熊本大	5
51	神奈川大	5
51	駒澤大	5
51	東洋大	5
51	龍谷大	5
51	久留米大	5
57	信州大	4
57	静岡大	4
57	琉球大	4
57	東北学院大	4
57	白鷗大	4
57	駿河台大	4
57	神奈川大	4
57	愛知学院大	4
65	筑波大	3
65	香川大	3
65	大東文化大	3
65	東海大	3
65	神戸学院大	3
70	鹿児島大	2
70	大阪学院大	2
70	姫路獨協大	2
73	島根大	1
73	京都産業大	1

合格者合計: 2,043

⑤ 18年~21年合格者数

順位	大学名	合格者数
1	東京大	714
2	中央大	642
3	慶應義塾大	589
4	京大	467
5	早稲田大	381
6	明治大	303
7	一橋大	266
8	神戸大	229
9	立命館大	208
10	同志社大	196
11	北海道大	170
12	東北大	156
13	関西学院大	155
14	上智大	147
15	大阪大	143
16	名古屋大	130
17	関西大	123
18	九州大	120
19	首都大学東京	118
20	千葉大	113
21	大阪市立大	106
22	法政大	104
23	学習院大	75
24	立教大	70
25	日本大	67
26	専修大	65
27	横浜国立大	62
28	成蹊大	58
29	愛知大	56
30	専修大	54
31	創価大	53
32	南山大	48
33	甲南大	45
34	明治学院大	44
35	岡山大	38
36	新潟大	36
37	青山学院	35
37	山梨学院大	35
39	大宮法科大学院大	34
40	駿河台大	26
40	福岡大	26
42	駒澤大	25
42	東洋大	25
42	桐蔭横浜大	25
45	金沢大	24
46	神奈川大	21
46	関東学院大	21
46	西南学院大	21
49	名城大	20
50	獨協大	19
50	広島修道大	19
50	神奈川大	18
52	近畿大	18
54	國學院大	17
54	大東文化大	17
54	熊本大	15
57	琉球大	14
57	東北学院大	14
59	白鷗大	13
59	神戸学院大	13
61	京都産業大	12
61	久留米大	12
63	島根大	9
63	香川大	9
63	北海学園大	9
63	東海大	9
67	筑波大	8
68	龍谷大	7
69	静岡大	6
70	鹿児島大	5
70	大阪学院大	5
72	信州大	4
72	愛知学院大	4
74	姫路獨協大	3

合格者総合計: 6,968

注: ①表中の/は、当該年の受験者ゼロ(修了者なし等を含む)による合格者なし。②合格者数が同数の場合は、国立、公立、私立の順に配列。(法務省資料より)

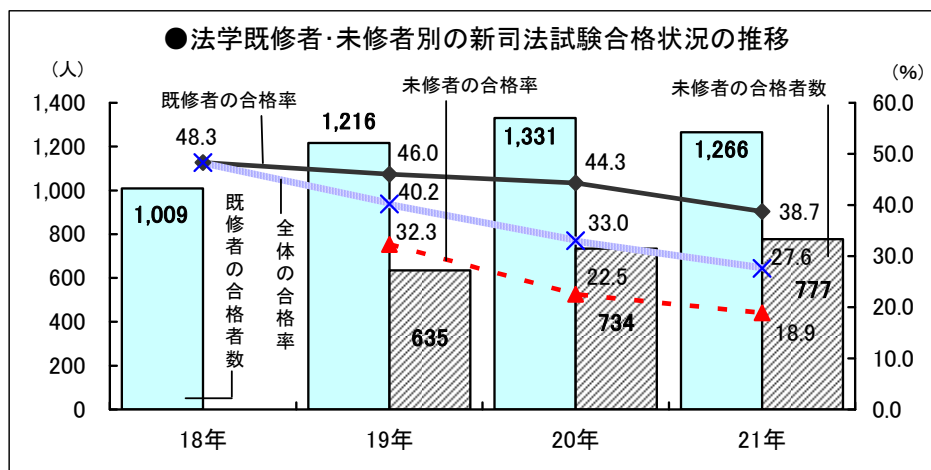
＜合格率の低下 / 「既修者と未修者」、「法学部と非法学部」の格差＞

新司法試験のこれまでの受験、合格状況は前述のとおりであるが、合格率の低下と合格者数の伸び悩みが目立つ。特に合格率は、第1回の既修者のみが受験した48.3%を最高に、3年連続ダウンしており、21年は27.6%と、3割を割っている。21年で合格率5割を超えたのは全法科大学院74校中、一橋大(62.9%)・東京大(55.5%)・京都大(50.4%)の3校だけで、14校(全74校の18.9%)が合格率1桁に低迷している。(図1、表1参照)

他方、既修者と未修者の格差も目立つ。21年の合格率は、既修者38.7%に対して未修者18.9%で、未修者の合格率はついに1割台まで低下した。(図2参照)

また、21年の法学部、非法学部出身者別の合格者数をみると、法学部1,617人(構成比79.1%、合格率29.4%)、非法学部426人(構成比20.9%、合格率22.6%)で、両者の差は合格率に比べ、合格者数の圧倒的な差が目立つ。因みに、21年の受験者数は法学部5,503人(構成比74.4%)、非法学部1,889人(同25.6%)で、法学部出身者の受験は非法学部出身者の約3倍である。

(図 2)



注. ①18年は既修者のみの受験、合格。②合格者数は左目盛、合格率は右目盛。(法務省資料による)

＜理念との乖離＞

法科大学院の特色のひとつは、主に法学部出身者を対象とする2年制の「既修者コース」と、非法学部出身者などを対象とする3年制の「未修者コース」に分かれていることである。特に未修者コースは、優秀で多様な人材を法曹界に輩出するとする法科大学院の理念に基づき、多様な学部出身者や社会人を受け入れる狙いで設けられている。

しかし、未修者や非法学部出身者の低迷が続くと、社会人や非法学部出身者が法科大学院への進学を敬遠したり、法科大学院側が既修者と未修者の定員比率をこれまで以上に既修者重視にシフトしたりするなど、理念とはかけ離れた動きが出てくることも懸念される。

＜都市部・大規模校の寡占化＞

これまで4回実施(18年～21年)された法科大学院の合格者総数は6,968人であるが、各法科大学院の合格者数をみると、東京大714人、中央大642人、慶應義塾大589人、京都大467人、早稲田大381人、明治大303人、一橋大266人、神戸大229人、立命館大208人、同志社大196

人といった、都市部の大規模校である上位10校(全74校の13.5%)で全体の合格者総数の57.3%(3,995人)を、上位22校(同、29.7%)までだと80.0%(5,580人)を占めることになる。

一方、18年～21年の合格者数が1桁に低迷している法科大学院(設置年度や教育課程の修了年限により、受験機会2回、3回も含む)は12校(全74校の16.2%)で、地方に多くみられる。

また、合格者数の上位校の顔ぶれは例年ほぼ同じ(20年、21年の上位8校は同じ顔ぶれ)で、都市部にある大規模・有力校と地方との格差は固定化しつつある。(表1、表2参照)

＜各年度修了者の新司法試験合格実績＞

ここまでは、18年～21年まで実施された各年の新司法試験の結果概要をみてきたが、次に法科大学院の各年度修了者(17年度～20年度)の新司法試験の合格状況を追ってみる。

なお、受験回数は前述したように、「法科大学院修了後、5年間で3回まで」と制限されている。(図3参照)

1. 17年度修了者(18年～21年受験可)

まず、法科大学院第1期生の17年度修了者(18年3月までに修了)は既修者のみ2,176人で、2,091人が18年新司法試験を受験し、1,009人が合格した。対修了者合格率は46.4%だった(受験機会1回目)。

翌19年には受験903人、合格396人で、対修了者合格率は18.2%(受験機会2回目)。

20年は受験者324人、合格者99人で、対修了者合格率は4.5%(受験機会3回目)であった。

つまり、17年度修了者の修了後3年間(受験機会3回)の対修了者合格率は、「3年間の合格者数1,504人÷修了者数2,176人=69.1%」となる。

21年は130人受験、8人合格で、修了後4年間では合格者の合計が1,512人となり、対修了者合格率は69.5%となる。

なお、修了者2,176人のうち、受験制限期間の22年まで1年間を残し、664人(修了者に対する割合30.5%)が、まだ合格を果たしていないことになる。

2. 18年度修了者(19年～21年受験可)

18年度修了者4,415人の対修了者合格率は、受験機会3回(19年の合格者1,455人、対修了者合格率33.0%/20年の合格者500人、対修了者合格率11.3%/21年の合格者168人、対修了者合格率3.8%)で、48.1%である。

修了者4,415人のうち、修了後3年間の合格者数は2,123人となり、受験制限期間である23年までの2年間を残し、2,292人(修了者に対する割合51.9%)が、まだ合格を果たしていない。

3. 19年度修了者(20年～21年受験可)

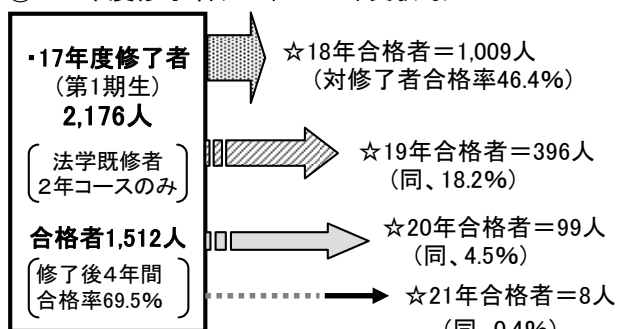
19年度修了者4,910人の対修了者合格率は、受験機会2回(20年の合格者1,466人、対修了者合格率29.9%/21年の合格者461人、対修了者合格率9.4%)で、39.2%である。

4. 20年度修了者(21年受験可)

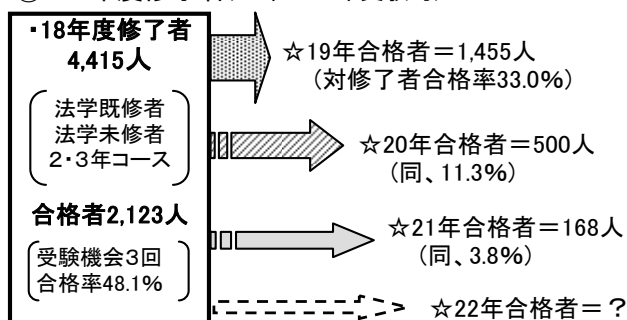
20年度修了者4,979人の対修了者合格率は、受験機会1回(21年の合格者1,406人)で、28.2%である。

●法科大学院 各年度修了者の新司法試験合格状況の推移(21年新司法試験までの実績:イメージ図)

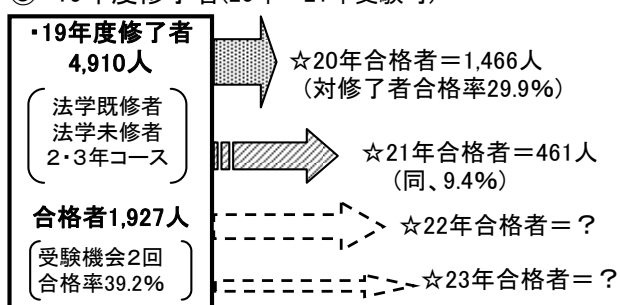
① 17年度修了者(18年～21年受験可)



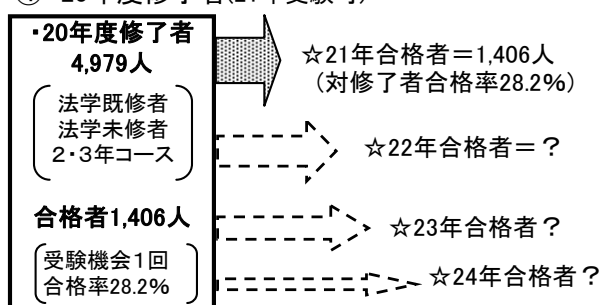
② 18年度修了者(19年～21年受験可)



③ 19年度修了者(20年～21年受験可)



④ 20年度修了者(21年受験可)



注. ① 新司法試験の受験回数は、法科大学院修了後、5年間で3回。

② 各年度修了者の合格率は、各年の合格者数合計÷修了者数。

(法務省資料より)

＜有力校は受験機会3回で合格率7割～8割達成 / 法科大学院間の格差＞

上述した各年度修了者の合格状況をみると、修了直後(現役生)の合格率が最も高く、年を追うごとに低下している。

また、前述(p.2)したように、受験回数3回目となる言わば、“後がない受験”の状況をみても、各年の不合格者が加わり“後がない受験者数”は年を追って増加しているが、その受験者の合格率は年を追って急激に低下(18年70.0% → 19年61.8% → 20年33.2% → 21年23.0%)しており、不合格者数(受験資格を失う)も増加している。

こうしたことから、新司法試験の合格率は、法科大学院修了後、短期間のうちに受験している方が「高い」といった傾向がみられる。

他方、受験3回が可能な修了後3年間の対修了者合格率は、既修者のみの17年度修了者で69.1%と7割近いが、未修者も加わった18年度修了者では48.1%と、5割を切っている。

11年7月、当時の内閣の下に設置された司法制度改革審議会は、その「意見書」(13年6月)で法曹人口の拡大として「22年ころには合格者数を年間3,000人」、法科大学院の教育内容・方法、成績評価、修了認定等について「修了者の新司法試験合格率を7～8割」などを提唱。これを受けた当時の政府目標を達成することは、現状ではきわめて難しい状況にある。

ただ、18年度修了者における各法科大学院の3年間の対修了者合格率をみると、合格者の多い大規模・有力校では7割～8割に達しているところもあり、そうした法科大学院では「意見書」の目標に合致しているともいえる。(図3、表3参照)

しかし、地方・小規模校では2割～3割台に低迷し、法科大学院間の格差がみてとれる。

●18年度修了者の21年までの新司法試験合格状況(入学定員規模順:定員100人以上) (表 3)

大学名	18年度修了者(19年～21年受験可)					
	入学定員 (21年度)	修了者数 (A)	19年～21年 合格者数 (B)	19年～21年 合格率 (B/A)	19年～21年 未合格者数 (C=A-B)	19年～21年 未合格割合 (C/A)
東京大	300	282	214	75.9%	68	24.1%
中央大	300	217	143	65.9%	74	34.1%
早稲田大	300	246	147	59.8%	99	40.2%
慶応義塾大	260	234	171	73.1%	63	26.9%
京都大	200	189	135	71.4%	54	28.6%
明治大	200	174	93	53.4%	81	46.6%
同志社大	150	132	65	49.2%	67	50.8%
立命館大	150	132	52	39.4%	80	60.6%
関西大	130	130	40	30.8%	90	69.2%
関西学院大	125	113	54	47.8%	59	52.2%
北海道大	100	95	53	55.8%	42	44.2%
東北大	100	79	57	72.2%	22	27.8%
一橋大	100	90	72	80.0%	18	20.0%
大阪大	100	77	43	55.8%	34	44.2%
神戸大	100	80	63	78.8%	17	21.3%
九州大	100	79	33	41.8%	46	58.2%
大宮法科大学院大	100	64	13	20.3%	51	79.7%
上智大	100	78	46	59.0%	32	41.0%
日本大	100	96	19	19.8%	77	80.2%
法政大	100	106	33	31.1%	73	68.9%

注. ①21年度入学定員100人以上の法科大学院を定員規模順に掲載。
 ②未合格者数は、「18年度修了者数」-「19年～21年の合格者数」。 (法務省資料より)

<法科大学院の質の向上を目指して>

○ 法科大学院と新司法試験の創設

法科大学院は、グローバル化の進展で法曹の多様化・高度化が一段と増す中、多様なバックグラウンドをもつ法曹人口の質と量を確保すべく、法学教育の“理論的教育と実務的教育を架橋する”法曹養成に特化した大学院として創設された。

また、新司法試験は、旧司法試験にみられた所謂、“点”のみによる選抜ではなく、「法学教育(法科大学院)－新司法試験－司法修習」を有機的に連携させるべく、“法学教育の成果”(プロセス)をみる試験として創設されたといえる。

○ 中教審、法科大学院特別委の座長談話

しかし、創設から5年経過した法科大学院の質保証や、これまで4回実施されている新司法試験結果などをみる限り、法科大学院、新司法試験とも一部を除き、その設立理念や当初目標などから掛け離れてしまっている実態がある。

こうした事態を踏まえ、中教審の法科大学院特別委員会は21年4月、「法科大学院教育の質の向上のための改善方策について」を報告。文科省は当報告を踏まえ、各法科大学院に対し、速やかに改善に着手するよう促すとともに、改善状況をフォローアップしていくとしている。また、法科大学院の認証評価制度の評価基準・方向等の見直しも行う。

他方、同特別委の田中成明座長(関西学院大教授)は21年新司法試験結果の低迷を受け、不

振の続く法科大学院に対して、定員の見直しや教育課程の共同実施・統合などを求めた以下のような「座長談話」をとりまとめた。当談話は、各法科大学院に通知される。

中央教育審議会大学分科会法科大学院特別委員会座長談話

～平成 21 年新司法試験の結果を踏まえた
各法科大学院における教育の質の改善の促進について～

平成 21 年 9 月 14 日
法科大学院特別委員会
座長 田中 成明

本委員会は、平成 21 年新司法試験の結果を踏まえ、法科大学院における今後の教育の質の改善の促進について審議を行い、これを踏まえ、座長として以下の談話をとりまとめた。

1. 今回の結果を見ると、合格者数が減少したことは遺憾である。多くの法科大学院修了者が、法曹の道を目指して真摯な努力を傾けていると思われるが、
(1) 合格率が 50%を超える法科大学院はわずか 3 校であり、相当数の法科大学院修了者が法曹の道を断念せざるをえない、
(2) 一部の法科大学院では、合格者がごく少数に留まる、又は修了直後の合格者がいない、
といった厳しい状況となっている。
2. 既に各法科大学院においては、本委員会の報告を踏まえ、教育課程の改善や入学定員の見直し等の改善に取り組んでいるが、厳格な成績評価・修了認定の徹底などを含め、一層努力いただきたい。
3. 特に、新司法試験の合否のみで法科大学院教育の成果を測ることはできないが、法曹養成機関としての設置目的や責務を損なうような、司法試験の結果が相当地に低い状態が継続している法科大学院は、ただちに大幅な入学定員の見直しを行うとともに、教育課程の共同実施・統合等の組織の在り方の抜本的な見直しの検討に速やかに着手することもあわせて強く求めたい。
4. これ以外の法科大学院についても、多くの不合格者を出している場合は、その数を減じるよう、平成 22 年度の入学者選抜の厳格化とともに、平成 23 年度の入学定員の見直しを行うことを強く求めたい。
5. 文部科学省においては、本委員会で提言した改善方策について各法科大学院に対して改めて周知を図るとともに、特に上記 3. 及び 4. について、本委員会に設置された第 3 ワーキング・グループとも連携しながら、各法科大学院に対して強く促していくことを求めたい。
6. なお、国においては、今回の結果等を踏まえ、改善の取組が十分でない法科大学院に対する様々な支援方策の在り方について検討を行うことが望まれる。
7. 本委員会としても、法科大学院の学修と司法試験の連携を一層強めるよう、関係者と協力を図っていききたい。

(2009. 10. 大塚)